

Ⅳ かわってきた^{いなわしろ}猪苗代町

1 学校のうつりかわり

わたしたちの学校は、いつできたのでしょうか。学校には^{えんかくし}沿革誌といって、学校の^{れきし}歴史を書いた^{きろく}記録があります。これをみると、わたしたちの学校がいつ、どこに、どのようにしてでき、どのように^か変わってきたかがわかります。ここでは、^{ちきと}千里小学校のことを例にして、学校のうつりかわりを調べました。

千里小学校のうつりかわり

125年前の学校 1873年（明治6年）に、今の^{ちよだ}千代田地区の^{あんようじ}安養寺に公立の^{かどうかん}嘉堂観小学校として、はじめての学校ができました。児童数は36人で、教室はお寺の^{ほんどう}本堂を使いました。先生は、お寺の^{じゅうしやく}住職さんなどで、いつもきちんと^{せいざ}正座して学習していました。

1899年（明治32年）に、今の千里小学校のある場所に学校を建てました。そのころは、千代田^{じんじょう}尋常小学校といました。千里尋常小学校という名前になったのは、1908年（明治41年）です。



⊕ ^{とうじ}当時の学校

100年前の学校 1899年（明治32年）に建てられた校舎^{しゃ}は、外側^{まど}の窓はガラスですが中は^{しょうじ}障子戸になっています。そのころ、ガラスはたいへんきちょうなものでした。また、校舎の二階^{かいい}の一部を、村役場に使っていたそうです。授業^{じゅぎょう}では、ノート^{せきばん}のかわりに、石板というものを使っ